

2016年7月19日
株式会社みずほフィナンシャルグループ
SBIホールディングス株式会社

ブロックチェーンを活用した国際送金の実証実験開始について

～日本発の「R3」コンソーシアムにおける協働プロジェクト～

株式会社みずほフィナンシャルグループ（本社：東京都千代田区、執行役社長：佐藤 康博、以下「みずほFG」）とSBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝、以下「SBIホールディングス」）は、本日、みずほFGとSBIホールディングスが参加し、R3 CEV LLC（以下、「R3 CEV社」）が主導するブロックチェーンコンソーシアム「R3」（※1）において、ブロックチェーンの実証実験を共同で開始することに合意しました。

これまで、コンソーシアムに参加する金融機関において、ブロックチェーン技術の実証実験など複数のプロジェクトが行われていますが、日本企業主導のプロジェクトは実施されていません。今般、みずほFGとSBIホールディングスの両社は、R3 CEV社と密に連携し、ブロックチェーン実証に関するプロジェクトを共同で立ち上げ、同技術の金融サービスへの活用を主導で推進していきます。

第一弾として、SBIホールディングスが主要株主を務める米Ripple社の次世代決済基盤Ripple Connect（※2）を活用した国際送金の実証実験プロジェクト「Sora」（ソラ）を年内に実施する予定であり、「R3」における他の金融機関メンバーとの国際送金等への拡大も検討していきます。

みずほFGは、お客さまの多様なニーズにお応えするために魅力あるサービスの提供に努めています。今後、「国内外のスタートアップ企業や新技術の動向、情報の収集」、「外部の知見を活用した目利きや早期のシステム連携・導入」等を通じ、「新しい金融サービスの創出」に向け、さらに積極的に取り組んでいきます。

SBIホールディングスは、日本におけるFinTech企業の先駆けとして、創業期よりインターネットを活用した多様な金融サービス事業を展開しており、各事業においてさらなる顧客利便性の向上やサービスの独自性の追求、他社との差別化を図るべく、新技術の導入を促進しています。

(※1)「R3」は、米国フィンテック企業R3 CEV社が主導するコンソーシアムで、現在世界各国の50社以上の金融機関が参加しています(2016年6月末現在)。このコンソーシアムは、ブロックチェーン技術を活用し、金融市場の効率化に取り組む世界最大級のワーキンググループです。

(※2) Ripple Connectとは、FinTech分野を先導するベンチャー企業である米Ripple社が開発した次世代決済基盤です。

海外送金において、複数の中継銀行を経由するため、時間やコスト不確実性等が問題となっておりましたが、「Ripple Connect」では、送金側と着金側をマーケットメーカーで直結させることで手数料の大幅な削減、取引時間の大幅な短縮を実現するとともに、プロセスの可視化が容易となります。

既に、グローバル銀行上位50行のうちの12行に導入され、30を超える銀行が実証実験を完了しています。

以上